

令和7年度 美並未来みなみこども園 職員によるこども園評価

結果報告 施設長

【評価の目安】：よくできている B：ほぼできている C：努力が必要 D：とても努力が必要

【評価の方法】評価の当てはまる欄に○を記入。コメントがあれば記入。

項目	内容	評価				コメント
		A	B	C	D	
○環境	子どもが快適に過ごす環境を整えることができる	6	6	2		○保育室内配置は園児の成長に合わせた。 ○工事のため部屋の移動が多い。 ○外部研修の良い影響を広げたい。
○場の工夫	子どもの意欲を高め、自信が持てるような遊びの準備や配慮ができています	4	7	3		
○PDCA	見通しを持った保育と教育をしている（保育と教育実施計画に記入がある）	5	7	2		
○自ら育つ力	子どもが意欲的に遊べる、子どもの発達・興味に沿った保育と教育内容を実施できる	5	6	3		
子ども一人ひとりの理解と受容	a 子どもの思いを生かした保育と教育内容を心がけている	6	6	2		○肯定的な言葉がけ、安心できる雰囲気づくりを継続したい。 ○保育者視点ではなく子ども主体に保育を進めたい。
	b 子どもにわかりやすい言葉使い（はやさ・大きさ）を心がけている	9	5	0		
	c 自分の言葉で思いを伝えることができない子どもへの配慮に努めている	5	8	1		
	d 保育・教育者として「待ちの姿勢」で、子どもの行動に余裕をもって対応できる	3	7	4		
	e 子どもが安心して話したくなるような雰囲気づくりに心がけている	6	6	2		
	f 「禁止言葉」や「○○できない」でなく「○○できるようにしよう」などの声かけができる	2	10	2		
	g 子どものサインを見逃さないように心がけている	5	9	0		
人権尊重	保育・教育者として「子どもの人権」を尊重し、虐待等がない世の中づくりに心がける。	9	5	0		
人間関係が育つような配慮	a 子ども同士の関係をよくするような言葉がけをしている	6	7	1		○よりよく仲間と関わる子を育てたい。
	b ケンカの場合では状況を適切にとらえ、双方の思いを伝えるようにしている	8	5	1		
	c 年齢に応じた社会的なルールを身に付けていけるように配慮している	6	6	2		
	d 子どもが保育・教育者や仲間の手伝いをしようとする行動を最大限に生かしている	5	8	1		
危険回避	突発的な状況（けが・発病等）に対して事前に予想を立てられる	2	6	6		
共に学ぶ	保育と教育者自身が子どもと一緒に遊ぶ場面があり、保育と教育を楽しんでいる	7	5	2		
食育	a 「食べることを楽しめる」子どもに育つように努めている	5	8	1		○暑さのため野菜とのふれあいが少ない
	b 食事中子どもと会話を楽しめるよう「とも食」に心がけている	4	8	2		
	c 子どもが食材（野菜等）に触れられるような場づくりを行っている	3	5	5	1	
衛生維持	室内清掃やトイレの消毒等を進んで行き、保育と教育の場の衛生管理に努めている	9	4	1		
衛生維持	おもちゃの消毒（日光消毒・塩素消毒）や遊具の安全点検を進んで行える	5	6	3		
職員研修	a 子どもの発育・発達を促す保育と教育情報収集に取り組んでいる	3	5	6		
	b 子どもが自信をもって生活できるように、職員同士で相談ができる	6	5	3		
	c 新しい遊びを取り入れ、社会ルールを学べる保育と教育の場づくりに努めている	5	5	4		
目標具現化	こども園の全職員が「育てたい児童像」を理解している（保育と教育目標の理解）	1	8	5		共通理解の場が必要。
保護者対応	保護者の思いを理解できるよう、丁寧に対応している	9	5	0		
職員間の連携	a 保育と教育士同士の信頼関係ができています	8	4	2		○クラス間の話し合いが必要 ○話し合いの機会が多いのが良い。
	b 保育と教育についての話し合いがなされ、意思統一がある	4	8	2		
	c それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	5	9	0		
人間関係	保護者や子どもに笑顔であいさつをし、進んで会話を楽しめる	14	0	0		
モラル	社会人として相手に心地よい身だしなみ（言葉遣い・行動・服装等）に心がけている	8	6	0		
全体的に	評価の個人差が大きい。各種委員会活動を充実させ、啓発と共同に努めたい。					